

感染症の登園基準

※必ず主治医の診断を受けてから登園してください

	病名	潜伏期間	感染可能期間	主な症状	登園基準
1	インフルエンザ (様疾患)	1～2日	感染後約10日	発熱、全身倦怠、筋肉痛、 鼻カタル、咽頭熱、咳	解熱した後3日を経過し元気が良いとき
2	百日咳	6～15日	感染後約3週	発作性咳の長期反復、持 続	特有の咳が消失したとき
3	はしか(麻疹)	10～12日	発疹出現の 前後4～5日	上気道のカタル、発熱、 粘膜疹コプリック斑	発疹に伴う熱が下がった後、3日を経過 し元気が良いとき
4	おたふくかぜ(流 行性耳下腺炎)	14～24日	明らかな症状を 示す7日前からそ の後9日続く	発熱、耳下腺、舌下腺、顎 下腺の膨張及び圧痛	耳下腺の腫れが消失したとき
5	三日はしか (風疹)	14～21日	発疹出現の前後 7日間	様々の発疹、軽熱、リンパ 腺腫大	発疹が消失したとき
6	水ぼうそう(水痘)	11～20日	水疱発現前 2～後6日	軽熱、被覆部に発疹、 斑点丘疹状→水疱→顆粒 状痂皮	すべての発疹が痂皮(かさぶた)になっ たとき
7	プール熱(咽頭結 膜熱)	5～6日	潜伏期後半～発 症後約5日間	発熱、全身症状、咽頭炎と 結膜炎の合併症	解熱し、主要症状がなくなった後、2日を 経過してから
8	流行性角結膜炎	1週間前後	発病後約2週間	軽熱、頭痛、全身倦怠、結 膜の炎症、眼瞼浮腫、目 やに	治癒するまで
9	急性出血性結膜 炎	1～3日	発病後約4日	流涙、結膜充血、眼瞼浮 腫、滲出液	治癒するまで
10	ヘルパンギーナ	2～7日		高熱、咽頭熱、咽頭に水 泡	解熱し、食事も十分できて元気になった とき
11	手足口病	2～7日	水疱消滅まで	感冒様症状、手足口に赤 斑→水疱	元気が良ければ登園可能
12	りんご病(伝染性 紅斑)	7日	14～20日	顔面赤斑とくに頬部の赤 斑性発疹	感染力はないので、元気がよければ登 園可能
13	溶連菌感染症	2～7日	潜伏期後半～発 症後約7日間	発熱、咽頭熱、扁桃腺炎、 莓舌、頸部リンパ節炎、全 身に発疹	有効治療を始めてから2～3日たって
14	乳児嘔吐下痢症 (ロタウイルスによ るもの)		不定期	発熱、下痢、嘔吐	主な症状がほとんど消失し、主治医、園 医が登園して差し支えないと認めたとき
15	感染性胃腸炎(小 型球形ウイルス・S RSV)	1～3日		発熱、腹痛、下痢	主な症状がほとんど消失し、主治医、園 医が登園して差し支えないと認めたとき
16	マイコプラズマ肺 炎(うつる肺炎)	10～24日		咳、発熱、呼吸困難、(重 症の場合)	症状が改善し、元気であれば登園可能
17	突発性発疹	約10日		高熱、3日後に全身に発疹	主な症状がほとんど消失し、主治医、園 医が登園して差し支えないと認めたとき
18	ヘルペス性菌内 口内炎(単純ヘル ペス感染症)	2日～2週間		口内炎症	症状が改善し、元気であれば登園可能
19	とびひ(伝染性濃 痂疹・皮膚化膿 症)	2～10日	水疱消滅まで	主としてまめつぶ大の水疱 自覚症状あまりなし	他人への感染のおそれがないと医師が 認めたとき
20	水いぼ	14～50日		球状のいぼ	他人への感染のおそれがないと医師が 認めたとき